

琉球歴史ドラマ「阿麻和利 THE LAST HERO」が 東京ドラマアワードでローカルドラマ賞を受賞



“世界に見せたい日本のドラマ”として海外での市場性、商業性を重視して国内の質の高いドラマを表彰する「東京ドラマアワード 2024」の授賞式が10月28日(月)、東京都内で開かれ、琉球放送株式会社(代表:中村一彦)が制作した琉球歴史ドラマ「阿麻和利 THE LAST HERO」がローカルドラマ賞を受賞しました。

受賞作品

■琉球歴史ドラマ「阿麻和利」(2024年2月に3週にわたってRBCで放送/46分×3話)

<あらすじ>

時は15世紀、沖縄にも戦国の時代があった。そんな戦国の時代に英雄「尚巴志」が現れ、琉球を統一する。しかし、英雄「尚巴志」が亡くなり、跡を継いだ王たちも次々と亡くなると琉球はまた荒廃し始める。そんな中、民衆の中に生まれた阿麻和利は、悪政をひく勝連の領主(按司)もちづきを倒すことを決意する。大切な人を亡くしながらも、仲間達ともちづきを倒した阿麻和利は勝連按司となり、貿易に手を広げ勝連を繁栄へと導く。しかし、その繁栄の為、首里王府の争いにしだいに巻き込まれていく。

<出演>

佐久本宝/比嘉梨乃/山田孝之/知念臣悟/神田青/小橋川嘉人/あったゆういち/末吉功治/ゆっきー(キャン×キャン)/真栄城美鈴

<主題歌>

HY「君と未来を」

<制作協力>

RBC ビジョン

<制作著作>

RBC 琉球放送

受賞の言葉

沖縄の歴史をそこに住んでいる人々、特に若者が知らない。ドラマを通して多くの人々に沖縄の歴史を知ってほしい。たくさんのキャスト、スタッフたちの熱い思いが詰まった作品。素晴らしい賞をいただきありがとうございます。(土田豪介監督)

東京ドラマアワードについて

日本のテレビ番組の海外への発信を推進するために日本民間放送連盟とNHKが中心となって2007年、「国際ドラマフェスティバル in TOKYO」を創設。フェスティバルのメインイベントとして創設された賞が「東京ドラマアワード」で、“世界に見せたい日本のドラマ”というコンセプトのもと、作品の質だけでなく、世界水準で海外に売れる可能性の高いドラマという観点で国内ドラマを表彰しています。



【写真説明:三谷幸喜さん、有働由美子さんの司会で10月28日に東京都内で開かれた授賞式／登壇した土田監督と主演の佐久本宝さん、比嘉梨乃さん(左から)／受賞の言葉を述べる土田監督)

<本件に関するお問い合わせ先>

琉球放送株式会社 広報室 TEL:098-860-2078 E-MAIL: pr@rbc.co.jp